

川上ダム通信

2016
12
月号



Vol. 135
Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>

本体工事の平成29年度着工を強く要望 ～地元伊賀市のみなさまが水機構本社来訪～

11月16日(水)、地元伊賀市から木津直樹県議会議員を団長に総勢21名のみなさまが、さいたま市にある水資源機構本社へ『川上ダムの本体着工及び早期完成を求める要望書』を携えて来訪されました。水機構側からは、こうむらけんゆう甲村謙友理事長をはじめ関係する理事、部長等、計8名が出席して要望を受け、意見交換を行いました。

冒頭、木津団長のご挨拶に続き、青山住民自治協議会長連絡会の川合会長より要望書の趣旨を説明され、地元伊賀市の治水と利水に不可欠な川上ダムについて、①平成29年度本体着工と事業工期内完成、②ダム建設事業に伴う水源地域の整備を進めることの2点を強く要望されました。



挨拶をされる木津団長

意見交換の中では、出席されたみなさまより、上野遊水地だけでは容量が不足しているの、病院等も多い市街地に水が溢れて被害が出ることはないようにして欲しい、水源地域の整備にあたっては地域の意見をよく聞いて進めて欲しい、川上ダム通信は地元とのつながりにたいへん役立っているの、今後も是非続けて欲しい、といったご意見もいただきました。また、これまで40年、50年とダムに関わってきた人達が既に多く亡くなっているの、その人達に本体着工を早く報告したい、といった切実なお言葉もいただきました。

理事長からは、「流域委員会、ダム検証と続き、ここまで時間が掛かったことをお詫びします。平成34年度完成に向けて着実に進めていきます。みなさまのお力添えをお願いします。」「地域整備については、懇談会を開催して地域のみなさまの意見を聞きながら進めていきたい。」とお答えしました。

地元のみなさまからの応援メッセージや生の声に接し、理事長以下、川上ダムの早期本体着工及び完成への思いを一層強くした次第です。当建設所としましてもご要望に応えるべく、一日も早く本体工事に着手できるよう全力で取り組んでまいります。

【所長 加納茂紀】



お答えする甲村理事長

寒さを吹き飛ばせ！イベント・お祭りへ参加しました！

～桐ヶ丘フェスタ2016～

11月12日（土）、地元伊賀市の桐ヶ丘三丁目アミティ近くで「桐ヶ丘フェスタ2016」が開催されました。このイベント、昨年は天候不良により中止となってしまったため、今年こそは開催するぞ！という主催者の熱い想いが伝わったかのような気持ちのよい秋晴れとなりました。

オープニングセレモニーでの青山中学校吹奏楽部の演奏にはじまり、KIRIGAOKA フィーバーや桐ヶ丘音頭、忍にん体操といった個性的なダンスパフォーマンスが披露され、会場を大いに盛り上げてくださいました。また、伊賀米や伊賀産の菜種油、地域で生産された新鮮野菜等の販売に、軽食販売、バザーなど、見て・食べて楽しめる一日でした。イベント当日は地元桐ヶ丘地区の住民だけでなく名張市など近隣からの来場者もあり、たいへん盛況でした。



アゲアゲなダンスに会場は大盛り上がり♪
(KIRIGAOKA フィーバー)



当建設所の出展ブース也大盛況でした！

会場には地元企業や団体からの出展ブースがあり、その一角に当建設所のブースを設けて川上ダム建設事業に関するクイズに挑戦してもらい、川上ダムについて学んでもらいました。ブースの入り口に川上ダムの仮排水路トンネル工事の際に岩盤から削りだして制作した「石琴」^{せっきん}を展示して奏でてもらったところ、鉄琴のような高い音色に驚かれた様子でした。岩盤の堅さを実感してもらえたのではないかと思います。

今後とも地元のイベントへ積極的に参加して地域の方々と良好な関係を築いていくとともに、川上ダム建設事業をより多くの方にご理解いただけるよう努めてまいります。

【環境課 清水杏子】

～伊賀の珍祭「種生神社の秋祭り」～

船の帆の形を模した「こたつき」、船型のだんじり、これにお神輿^{みこし}、獅子舞、氏子の行列がならび、海のない伊賀の山あいを舟歌を歌いながら練り歩く伊賀の珍祭「種生神社の秋祭り」が、10月23日（日）に開催され、当建設所職員からも筆者を含めた4名がお神輿の担ぎ手として参加しました。

なぜ、山深い種生で、海を思い起こさせるような神事が残されているのでしょうか？

一説によれば、奈良の春日大社の祭神^{さいじん}となるため、鹿島の神^{うつ}が、常陸から伊勢へ、伊勢から伊賀へ、伊賀から奈良の都に遷られ、その道筋にあたる神社では、それぞれに鹿島の神を迎えたとされています。種生神社も旧社名は鹿島神社であり、近くの霧生と諸木には現在も鹿島神社が存在します。鹿島の神が海を渡り渡御^{とぎよ}されてきた姿そのままを表現し、「わたり」の神事として残されている、とされています。

当日は、少し肌寒い秋空のもと、たくさんの人々がこのお祭りを見物しに訪れていました。1300年前に神様が渡御されてきたようすを伝える伊賀の珍祭を、一度訪れてみてはいかがでしょうか。



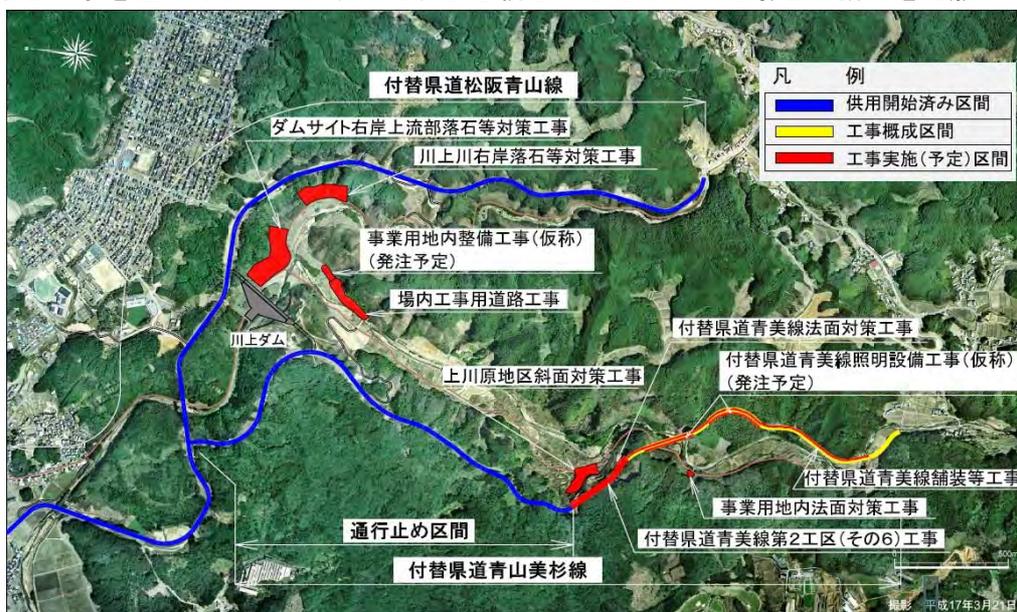
わっしょい♪わっしょい♪（お神輿巡行）

【第一用地課 高橋宏行】

川上ダムにおける現在の工事実施状況

川上ダム通信2016年4月号において「平成28年度工事の予定」を紹介しましたが、その後、ダム本体工事の準備工事となる斜面落石対策工事、工事のための車両や建設機械が通る工事用道路等の工事を発注し、また、付替県道青山美杉線では、全線供用に向けた舗装工事等を発注しておりますので、改めて現在の工事実施状況をお知らせします。主な工事箇所（一部予定箇所を含む）は下の図中の赤色の部分です。

付替県道青山美杉線の平成29年度全線供用開始に向けて工事を進めるとともに、一日も早い川上ダムの完成を目指し工事を進めてまいりますので、引き続きみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。



【工務課 小野周平】

安全が最優先！労働安全のプロと合同パト実施

当建設所では、工事現場の安全点検や受注者への指導等を目的として毎月1回、安全協議会を開催しています。11月17日（木）に開催した安全協議会では、伊賀労働基準監督署の森署長、堀川安全専門官をお招きし、署長から労働安全に関する講話をいただいたのち、合同で工事現場の安全パトロールを行いました。

労働安全に関する講話では、今年の三重県内の労働災害発生状況の特徴として伐倒木作業での事故が多いこと、墜落災害は重篤な状態になることもあるため、ちょっとした作業であっても安全対策を徹底することが重要とのご説明をいただきました。

安全パトロールでは、労働基準監督署と一緒に機構職員及び現在工事実施中の受注者が歩いて、より多くの目で工事現場の安全面の点検を行いました。安全パトロール後の講評では、労働基準監督署から、「仮設階段



まずは、安全掲示板のチェックから！

までの歩行路ではつまずきなど転倒災害が起こりやすい状態であったと思われる。労働災害の中でも転倒災害の割合は多いので、4S（整理・整頓・清掃・清潔）活動を今一度確認しながら作業を行って下さい。」と助言をいただきました。

今回、労働基準監督署の方に安全パトロールへ参加いただいたことで、参加者一同の安全に対するより一層の意識向上を図ることができました。当建設所では、今後も安全確保を最優先に無事故・無災害での事業実施に努めてまいります。

【工務課 渡辺高志】



労働安全に関する森署長の講話

津波防災の日(11月5日)の取組み

11月5日は何の日かご存じですか？いくつかありますが、「津波防災の日」として制定されています。

平成23年3月東日本大震災で大きな津波被害が発生したことから、津波被害から国民の生命や財産を守ることを目的に「津波対策の推進に関する法律」が定められ、これにより毎年11月5日を津波防災の日とすることになりました。なお、11月5日は安政元年(1854年)安政南海地震の発災日であり、大津波が和歌山広村(現在の和歌山県広川町)を襲った際、いち早く危険を知らせて津波から多くの村人を救った「稲むらの火」の逸話に基づいているそうです。また、この日は日本だけではなく、国連総会において決議採択されたことにより、国連の共通記念日の「世界津波の日」としても位置づけられています。

当建設所においても、大きな地震が発生し、緊急地震速報を受けたことを想定した初動訓練(頭を守って身の安全確保)、避難訓練を津波防災の日に合わせて実施しました。

地震はいつ起きるかわかりませんし、どこで強い揺れにあうかもわかりません。地震が発生して大きな揺れが起きることを知らせる緊急地震速報を見聞きした際には、①その場の状況に応じて、②あわてずに、③まず身の安全を確保することが基本だということを覚えておきたいものです。



身の安全を確保する行動のイメージ(あいちシェイクアウト訓練リーフレットより)

【工務課 小谷口雅義】

本誌に対するご意見と掲載記事を募集します♪

当建設所では、読者の皆様により一層楽しみながら川上ダム通信をお読み頂けるよう、本誌に対するご意見や掲載記事を募集しています。詳細については、下記までお問い合わせください。よろしくお願いいたします。

【問い合わせ先】 総務課 TEL 0595-52-1661 Mail somu1@lily.ocn.ne.jp

※掲載記事については、広告など営利目的のものはお受けいたしかねますのでご了承ください。

11月の転入者のご紹介

所属	氏名	異動元
調査設計課	豊原 誠	朝倉総合事業所(福岡)

イベントのお知らせ

敢国神社例祭

開催日:平成28年12月5日(月)
開催場所:敢国神社(伊賀市一之宮877)
お問い合わせ先:敢国神社
TEL:0595-23-3061

ふたご座流星群

開催日(極大日):平成28年12月13日(火)
開催場所:天空
※極大日とは、流星群がもっとも活発に活動する時期のことです。

編集後記

月日が経つのは早いもので、今年も残すところ1ヶ月となりました。年末年始は、クリスマス、TVの特番、お正月のおせち・お雑煮等楽しみなことが盛りだくさんで好きな時期です。一方、毎年悪戦苦闘する大仕事待ち構えています。共感していただける方も多いかと思いますが、年末の大掃除、年賀状作りの2つの大仕事です。毎年、「そのうちやるから」と言いながら、気づいた時には、手付かずのまま大晦日・・・がお決まりパターンとなりつつあるので、今年こそは早めに動きだす!?ことをこの場をお借りして宣言します!

【広報誌発行事務局】

編集長	加納(所長)	
デスク	大西(総務課長)	小谷口(工務課長)
記者	谷村(総務課)	富士澤(第一用地課)
	八重樫(第二用地課)	山本(調査設計課)
	清水(環境課)	小野(工務課)